

令和4年6月3日

報道機関各位



公益社団法人 福井県観光連盟
担当：佐竹、野路、吉川
電話：0776-23-0182
E-mail：info@fuku-e.com

事業者向け 観光商品のオンライン予約販売・決済システム（TXJ）
説明会を開催します

（公社）福井県観光連盟では、北陸新幹線福井・敦賀開業等に向け、「稼ぐ」観光地づくりをサポートする仕組みとして、福井県観光連盟公式 HP サイト「ふくいドットコム」上で予約販売・決済が可能になる Tourism Exchange Japan（ツーリズムエクスチェンジジャパン）システム（以下、TXJ システム）を採用することとしました。

TXJ システムにより福井県エリア全体の共有プラットフォームを構築することで、体験、飲食、物販等の幅広い分野の事業者の利用を可能とし、旅行代理店や観光協会等にもシステムを提供することで、各 WEB サイトでの販売網を築いていくことが可能となります。

また、多言語化にも対応し世界で約 80 社を超えるグローバル OTA や旅行会社に接続可能であることや、QR コードによるオンラインチケット発行、購買等データを収集することでマーケティング成果を可視化できることなど、様々な機能を備えたプラットフォームとなります。

つきましては、県内の観光事業者向けに、第 1 回予約販売・決済システムの概要と登録に関する説明会を開催しますので、お知らせいたします。

記

日 時：令和4年6月7日（火）13:30～15:30

場 所：福井県国際交流会館2階 第1、2会議室（福井市宝永3丁目1-1）

参加者：県内約20事業者（飲食、土産、旅行会社、物産協会等）

講 演：Tourism Exchange Japan 代表 村木智裕

（1）システム概要説明

（2）質疑応答

今後予定：第2回 6月8日（水）プラザ萬象 第1会議室 10:00～12:00

第3回 6月17日（金）オンライン 17:00～19:00

第4回 7月14日（木）オンライン 17:00～19:00

※引き続き事業者を募集しています。

右記フォームから、説明会に申し込めます。



(参考) 会社概要

法人名	合同会社 Tourism Exchange Japan
設立	2019年7月12日
役員	株式会社 Intheory、株式会社 Chapter White
事業内容	ブッキングシステムの導入・運用 海外旅行会社向け E-learning の構築 等
資本金	6,000,000 円
スタッフ	9名
業績	※ブッキングシステムの導入・運用実績 Visit はちのへ、八幡平 DMO、神姫バス、奈良県 VB、新潟県観光協会、島田市、金沢市、有馬温泉、能登 DMC 等
所在地	本社：広島県広島市南区京橋 1-7 支社：長崎県五島市三尾野町 2-1-2-3 階
代表電話番号	0959-76-3538
URL	http://txj.co.jp/
本事業の責任者	村木智裕



共同代表：村木智裕

1998年広島県庁入庁。財政課や県議会事務局など、地方自治の中枢を経験。

2013年からせとうちDMOの設立を担当し2020.3までCMOを務める(2018.3広島県退職)。現在、自治体やDMOの運営・マーケティングのサポートを行う株式会社intheoryの代表。2019年(株)ChapterWhiteとTourism Exchange Japanを設立。

共同代表：ホワイト美佳

2012からアメリカ政府観光局(ブランドUSA)の日本オフィスでPR/プロモーションを担当。その後(株)ChapterWhiteを設立し、復興庁東北インバウンドプロモーションやせとうちDMOの欧米マーケティングを手がける。

2019年(株)IntheoryとTourism Exchange Japanを設立。

(別紙)

福井県観光連盟 吉川 行き (FAX:0776-23-3715)

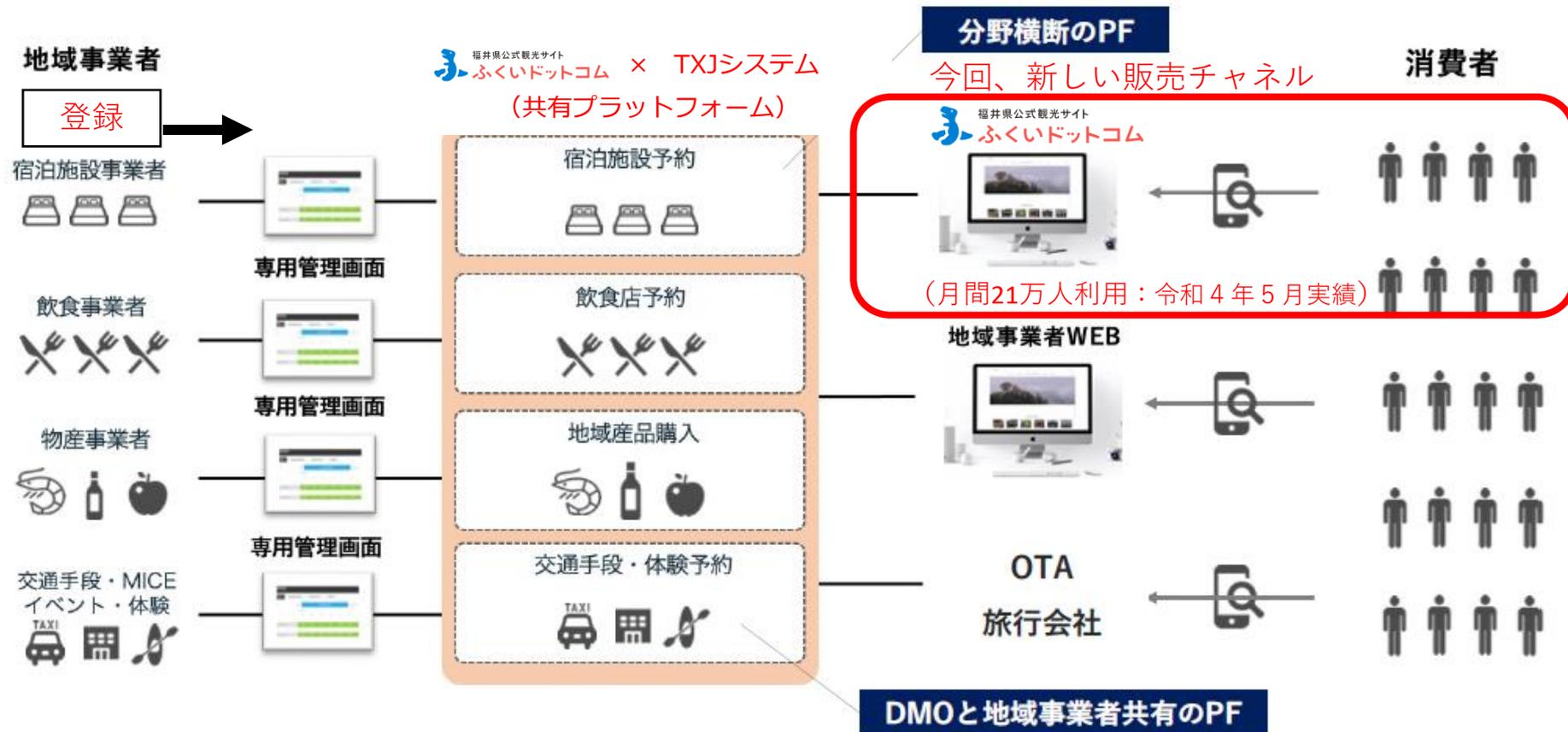
6/7 事業者向け 観光商品のオンライン予約販売・決済システム(TXJ)説明会
取材希望一覧

社名	氏名	連絡先 (携帯)	カメラ テレビカメラ	備考

6月6日(月)12:00までに福井県観光連盟 吉川までご連絡願います。

1. TXJシステム構築イメージについて

(公社) 福井県観光連盟公式観光サイト「ふくいドットコム」上で予約販売・決済が可能



2. 事業者支援 (体験、物販事業者想定)

- 福井県の観光に興味があるユーザーにリーチでき、1回のサイト訪問で販売まで結びつける事も可能 (ふくいドットコム：月間利用者約21万人、約78万PV…令和4年5月実績)
- 観光事業者の初期費用、固定利用料 ¥0 (売り上げによる手数料のみで運用)
- 海外OTA等、複数の販売チャネルとの在庫管理の連携 (将来的なインバウンド対応)
- 多言語化 (日英仏中(繁))
- QRコードによるオンラインチケット発行可
- 購買データ等のマーケティング分析が可能 (自社サイト経由のみ)